















入省に関するお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局

事務系｜総務部人事課　　技術系｜企画部企画課

TEL 082-221-9231（代）

HP http://www.cgr.mlit.go.jp/

E-mail recruit@cgr.mlit.go.jp

採用情報はHP・Facebookにより配信中！



中国地方整備局
〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30
広島合同庁舎2号館　TEL.082-221-9231









国土を整え、全力で備える

中国地方整備局

愛する地域をこの手で創る

入省案内 2019









MLIT

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Chugoku Regional Development Bureau

安心・安全で魅力ある
中国地方を築き、未来につなぐ

私たちは、中国地方がもつ自然環境、歴史や文化、製造業を中心とした
産業などのポテンシャル（潜在力）を最大限に活かし、
次世代に引き継ぐ魅力ある地域づくりを目指しています。
そこに込められているのは、中国地方への「想い」です。

また、近年多発する豪雨災害や、今後発生が想定される大規模地震などに対する
防災・減災対策、高度成長期等に整備したインフラ施設の老朽化対策など、
日本を取り巻く様々な環境に対して、広域的な視点から「国」として対応することが
私たち中国地方整備局の職員には求められます。

私たちが見つめる先には、誰もが安心・安全に暮らすことができ、
魅力が溢れる中国地方、そして日本を築き、未来に繋いでいくという目標があります。
「国でしかできない仕事」、「国だからできる仕事」がここにはあります。

中国地方のあるべき姿を目指して

技術（土木） 本局企画部 企画課 係長 **寺岡　浩**



中国地方は、関西・四国・九州を結ぶ地理的条件に恵まれ、山陰と山陽の魅力ある2つの地域性や、豊かな自然、歴史、文化を有するなど、優れている面が多くあります。一方で、全国の中でも人口減少や高齢化が進んでおり、また、広大な中山間地域により居住可能な土地が限られ、災害リスクの高い地域に多くの人口や資産が集中しています。

このような中国地方の特徴を踏まえ、中国地方整備局は広域的な視点で50年後、100年後の中国地方のあるべき姿を目指し、地域住民の方、民間事業者、関係する行政機関など、いろいろな人と力を合わせ、プロジェクトを進め社会に貢献しています。

一つ一つのプロジェクトを進めていく上では困難が伴うこともありますが、中国地方整備局だからこそできる仕事であり、誇りを持って携わることができる、やりがいのある仕事だと思います。

皆さんが培った感性や、柔軟な発想力、コミュニケーション力を活かし、私たちと一緒にこれからの中国地方を創っていきましょう。

道づくりの「道」を歩んでみませんか!!

事務 広島国道事務所 計画課 専門官 **小尻 竜二**



皆様はこれまで、それぞれの「道」を歩んでこられたかと思いますが、私の所属する計画課は、道づくりに関する中長期計画、事業評価や整備効果の検証、渋滞及び環境対策などを行っており、そのうち広報に関する業務などを担当しています。

平成30年7月豪雨では、当事務所の管轄内においても、幹線道路などの交通基盤が寸断され、各所で発生した通行止めや大渋滞の影響から人や物流の停滞を招き、当事務所が迂回路設置により短期間で交通開放した幹線道路においては、“命のみち”と呼ばれるなど、連日の報道収集により、社会活動における道路の重要性を再認識できたところです。

冒頭の「道」に話しは戻りますが、“命のみち”と呼ばれる、そんな道づくりの「道」をあなたも歩んでみませんか?

治水、利水、環境
3本の柱で「命」と「財産」を守る

中国地方の人口や資産は、河川の氾濫区域に集中しており、洪水や土砂災害など自然災害から、地域の暮らしの安全・安心を守るための河川、ダム、砂防、海岸の整備や管理とともに、うるおいとやすらぎの空間を創出するための環境整備を通じ、「安全で安心して暮らせる地域づくり」と「美しく豊かな自然環境の保全」を目指します。



PICK UP!

斐伊川放水路

島根県東部を流れる斐伊川。斐伊川・神戸川の沿川は古くから幾度もの洪水被害に見舞われてきました。毎年のように発生する洪水は、神話に登場する大蛇のヤマタノオロチにたとえられ、恐れられていました。約25,000戸の浸水被害が生じた、昭和47年7月洪水を契機に斐伊川の治水対策が計画されました。

治水対策は、3つの事業柱から成り立っています。

❶上流の尾原ダム・志津見ダムの建設
❷中流の斐伊川放水路を建設
❸下流の大橋川の築堤等の改修、中海・宍道湖の湖岸堤整備

写真の斐伊川放水路は、斐伊川の洪水の一部を神戸川に分流させ、斐伊川下流や宍道湖の水位上昇を抑え、氾濫を防止しています。工事は、平成6年から本格的に始まり、平成25年、延長13.1kmにわたる放水路が完成しました。

PICK UP! 斐伊川放水路

『巨大水路』に託された重要な役割

技術（土木） 出雲河川事務所 神戸川・放水路管理室 係長 **和田 英治**



私が働いている出雲河川事務所では、長年、斐伊川の治水に取り組んでいます。その中でも『斐伊川放水路事業』は、斐伊川の洪水の一部を隣接する神戸川を経由して日本海に流す大規模な事業で、計画から約40年もの歳月をかけ、平成25年に完成しました。

斐伊川放水路には、普段水が流れていないため初めて見た方は疑問に思われることが多いようですが、洪水時には姿を一変して斐伊川の水を分流し大きな治水効果を発揮します。

私は、主に斐伊川放水路の施設管理を担当していますが、これまで先輩方が築きあげた歴史の重みを感じつつ、大規模な洪水から沿川の皆様の生命・財産を守ることを第一の使命に、日々やりがいを感じながら仕事に取り組んでいます。

皆さんもそんなプロジェクトに参加してみませんか?

魅力あるかわづくり

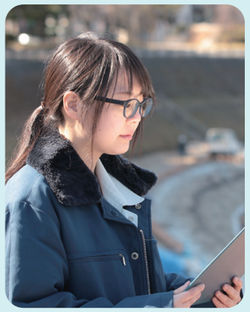


技術（土木） 岡山河川事務所 調査設計課 係員 **西川 明花**

私は主に河川の工事や管理をする際に必要となる最新の河道状況を把握するための調査を行っています。調査の内容としては河道の測量や河床材料調査、河川に生息する植物・動物などの調査、水質調査、河川空間の利用状況調査と多岐に渡っています。周りの方にサポートをいただきながら勉強の毎日です。

また近年では女性の技術職員も少しずつ増えており、女性の意見も大切にしてもらえる職場だと感じています。入省したての1年目のときから「どう思う?」と意見を問われることも多く、国民のくらしを支える整備局の一員として働けることにやりがいを感じています。

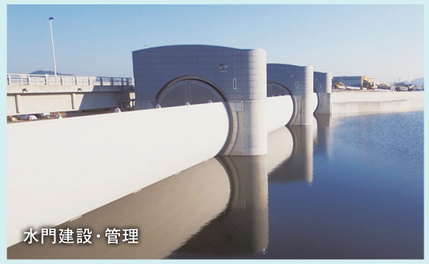
誰もが憩える河川のために



事務 岡山河川事務所 占用調整課 **流森 佳穂**

本来、河川は誰もが等しく利用できる憩いの場ですが、私的な土地独占などの不適正な使用は、その妨げとなります。私が担当しているのは、河川の利用に関する許認可事務です。河川が適正に利用されるよう、河川法という法律に照らして審査し許可しています。不法に河川を使用している人々には、行政指導をすることもあります。指導の結果、不法状態が解消されたときには、大きな達成感が得られます。

仕事は事務所内での作業が主ですが、時には現場に出て河川の利用状況を調査したり、技官の方とチームを組んで堤防の点検をしたりすることもあり、事務官と技官が一体となって河川を守っていると実感できる職場です。


水門建設・管理


河川堤防の耐震化


ダム管理


親水護岸整備

人と人、町と街
地域を繋ぐ生命線

地域振興や物流の効率化に欠かせない道路。広域的な高速ネットワークを構築する高規格道路整備や一般国道の整備、交通安全事業など、地域発展の基盤整備を進めるとともに、道路の維持管理を行います。また、既存インフラ施設の老朽化対策など時代に対応した整備を目指しています。



PICK UP!

山陰自動車道

山陰自動車道は、鳥取県鳥取市から島根県を経由し山口県下関市に至る総延長約 380km の高規格幹線道路。

写真は、島根県大田市仁摩町から同市温泉津町を結ぶ「一般国道９号　仁摩・温泉津道路」。

仁摩・温泉津道路は、地域を結ぶ幹線道路として輸送時間の短縮や地域経済の発展、また沿線地域の活性化や観光拠点へのアクセス向上など重要な役割を果たします。地域と一丸となり工事を進め平成２６年度に開通しました。

PICK UP!

山陰自動車道
つなげよう、地元の未来



技術（土木）　松江国道事務所 工務課 係長　**上角 弘樹**

私は、山陰自動車道の一部を担う大田・静間道路の建設事業を担当しています。

地域や関係者との協議・調整を行いながら事業を進めています。山陰自動車道は地域の期待も大きく、「早くつなげて」、「開通したら、通勤圏内が広がるから雇用拡大につながる」などの声を多く聞きます。

また、私自身、島根県の出身者で、過疎化や高齢化を肌で感じており、山陰自動車道の開通により、地域活性の一役を担える事を誇らしく思っています。我が故郷に恩返しをするために、1日でも早い開通を目指して日々仕事に取り組んでいます。

皆さん、そんな山陰自動車道を一緒につなげていきませんか？



多くの人に喜んでもらえる道路を目指して

技術（土木）　広島国道事務所 調査設計課 係員　**三上 里奈**

私は、道路や橋の調査・設計等を担当しています。快適に利用でき、維持管理し易い道路にするにはどのような構造が良いのか、市町や県、地域の方々と日々相談しながら、設計を行っています。

それぞれに想いがあるため、個々の想いを1つにまとめて形にしていくことはとても大変ですが、関係者の意見を取りまとめ決めていったものが、実際に図面となり現地に出来あがっていく姿を見ると、とても魅力的で楽しい仕事であると改めて感じます。

支えてくれる仲間がいます



事務　山口河川国道事務所 用地第二課 係員　**奥濱 啓太**

私は、公共事業に必要となる用地取得業務に携わっています。主には、移転していただく必要のある建物等の補償金の算定や、土地所有者をはじめとする権利者の方々への補償内容の説明を行っています。

権利者の方々との協議では、大変さを感じる場面もありますが、粘り強く協議を重ね、契約締結に至った際には、大きな達成感を味わう事が出来ます。

また、用地取得業務では、土地評価や建物に関する知識だけでなく、不動産登記や、補償金に対して課税される税金等の幅広い知識が求められます。そのため、日々分からない事も多くありますが、先輩や上司が丁寧に教えて下さり、非常に働きやすい職場であると感じています。


道路建設（山陰自動車道）


除雪作業


トンネル点検


道の駅（山口県萩市）

地域の経済を支え世界と結ぶ「みなと」

地域の経済・基幹産業を支える「みなと」づくり

原材料の調達や製品の出荷において、効率的な海上輸送を実現することで、地域の経済や基幹産業を支える港。
産業の国際競争力を強化するとともに、災害に強く、環境に優しい港湾を目指します。



広島港 完成自動車の輸出

自動車産業は、中国地方の地域経済を支える基幹産業です。
完成した自動車は広島港で船に積み込まれ、世界各地に輸出されています。



徳山下松港
石炭の荷役


境 港
岸壁の整備

地域産業を支えています



技術（土木） 宇野港湾事務所 保全課 係員 **坂井 宏衣**

中国地方の穀物輸入拠点となっている水島港では、現在大型船の入港を可能とするために新たに岸壁の築造工事を行っています。私は、工事が発注通りに、かつ安全に施工されているかの確認や、円滑に進むよう関係者と調整を行うなどの、現場監督の業務に携わっています。

入省当時は港湾についての知識はほとんどなく分からないことばかりでしたが、周りの諸先輩方から様々なことを教わったり、実際に工事現場を目で見ることができたりと、日々勉強しながら業務を行える環境にあります。海しかなかった場所に新たに大きな構造物が造られていく様子を見ると、自分がこの事業に携わっていると実感することができ、とてもやりがいのある仕事です。

目指せ！事故率0%、やりがい100%！



技術（土木） 境港湾・空港整備事務所 保全課 係員 **西林 孝朗**

私は現在、鳥取県の境港で岸壁の整備事業に携わっています。業務内容は、実際に工事の監督や、工事を発注するための資料作成などです。工事は設計通りにできることの方が少なく、工事受注者と共に問題を解決しながら進めます。工事の規模が大きく、苦労するからこそ、完成したときの達成感はひとしおです。港は、人や物が日本と外国を行き来する手段の一つとしてとても大事な役割を果たしています。工事で作った構造物が私たちの生活やその地域にとても役立っていると考えるとやりがいが生まれませんか？

国民生活を豊かにするために私たちと一緒に働きましょう!

くらしを支える仕事です。一緒に働きましょう!



事務 本局総務部 人事課（港湾空港担当） **田中 佳子**

人事課で採用業務や人事異動に関する業務に携わっています。国民のくらしを支える整備局の一員として、職員をサポートする現在の仕事にやりがいを感じています。法律や規則等の様々な知識が必要ですが、先輩や上司の助けをいただきながら日々勉強しています。

先輩方は育児休業等の制度を活用して仕事と子育てを両立されているので、女性も働きやすい職場環境だと実感しています。多くの人の役に立てる魅力的な職場で皆さんも私たちと一緒に働きませんか！

世界に開き、広域交流を支える空港

安全で、利便性に優れた空港の整備を目標に、未来の航空運輸を支える総合的な空港機能の充実を推進していきます。


広島空港 人工地盤（電波高度計用地）


水島港
臨港道路の整備


境港
賑わいのある「みなと」づくり

まちづくり・すまいづくりを支える

中国地域の経済・社会の活性化や、個性豊かな地域社会の実現、都市の健全な発展と文化の向上を目指して、中国地方の歴史・文化・自然環境等の特性を活かし、活力と魅力あふれ、暮らす人にも、訪れる人にも快適な「まち」をつくっていくための様々なサポートを行っています。

広島駅前再開発
写真提供：広島駅南口Bブロック市街地再開発組合


花のひろば


ウインターイルミネーション

国営備北丘陵公園

多様化するレクリエーション需要に応え、豊かさを実感できる暮らしの実現に向け、国営公園の管理を行っています。

まちの魅力を高めるために



技術（土木） 本局建政部 都市・住宅整備課 係長 **日高 雅彦**

進化しつづける「まち」、課題を抱える「まち」と、今後のまちづくりについて今まで以上に考え取り組んでいく必要があります。

例えば、人口減少、少子高齢化が進む中「コンパクトなまちづくり」をスローガンに、この縮小をポジティブにとらえ、より魅力的なまちづくりが一層求められています。

また、一方で、中国地方では平成30年7月豪雨災害のような頻発する大災害に備え、安全・安心に暮らすことについても考えていく必要があります。

まちづくりの答えは一つではありません。

国は直接まちづくりを担うわけではありませんが、このような多岐にわたる課題に対して、県や市町村と一緒に汗をかきながら、将来のより魅力的なまちがつくられるよう、課題解決へ向けた取り組みを進めています。

まちづくりに関わることのできる職場「建政部」で一緒に頑張ってみませんか。

魅力あふれる公園づくり



技術（土木） 本局建政部 都市・住宅整備課 係長 **尾長 ゆかり**

中国地方で唯一の国営公園である備北丘陵公園の維持管理に係る仕事に携わっています。備北丘陵公園は年間40万人を超える方にご利用いただいており、平成27年度の年間入園者数は開園以来、過去2番目となる52万人を超えました。その一方で、開園以来20年が経過し、施設の老朽化対策が維持管理面での課題の一つとなっています。

多くの方に安全で安心してご利用いただくため、日々の点検等、安全管理はもちろんですが、計画的にまた効果的に施設の補修や更新等を進めていくことが重要です。

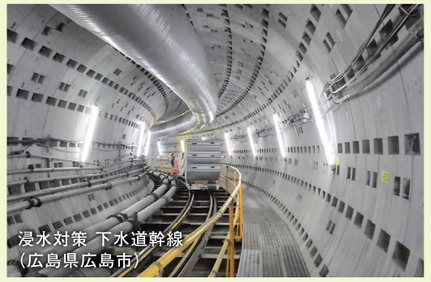
「ふるさと・遊び」を基本テーマに、中国地方の歴史文化の保存・継承の取組を推進する様々な体験プログラム、地域住民や公園利用者との協働による公園管理、また誰もが安全で安心して利用できる公園づくり等を重点事項に掲げ、ポスターやチラシ、SNSでの積極的な情報発信や多彩なイベントを開催し、魅力あふれる公園の管理運営を進めています。


周南市徳山駅前 賑わい交流施設
（山口県周南市）


神門通り線街路整備
（島根県出雲市）


歴史まちづくりの推進
（岡山県倉敷市）


廿日市駅 自由通路階段部
（広島県廿日市市）


浸水対策 下水道幹線
（広島県広島市）


大型遊具の設置
（広島県三次市）

災害から地域を守る
～私たちの使命～

平成30年7月豪雨により広島県や岡山県で甚大な被害が発生しました。また、今後、南海トラフ巨大地震による広域的な大規模災害の発生が懸念されています。中国地方整備局は、防災・減災に努めるとともに、災害が発生した場合には、初期段階の応急活動から復旧・復興における支援など、一連で対応を行っています。地域の皆さんの安全・安心なくらしを確保することが、私達の使命です。



PICK UP! TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

TEC-FORCEは、大規模な自然災害に際して被災状況の把握や被災した地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施します。TEC-FORCE隊員は、職員の中でも専門的な知識や現場経験などを有した災害対応エキスパートで構成されています。地方自治体などへの支援が必要となる大規模災害が発生したときは、即座にTEC－FORCEを派遣し、防災ヘリコプターや災害対策用車両（排水ポンプ車、照明車、衛星通信車など）の出動により、被害の拡大防止や被害状況の調査などの支援を行います。

●近年の主な支援実績

平成23年3月	東日本大震災	東北地方	92日間／延べ1,152名／照明車、排水ポンプ車、衛星通信車、災害対策本部車等を派遣。
平成25年7月	山口・島根豪雨災害	山口県、島根県	28日間／延べ920名／照明車、排水ポンプ車、衛星通信車、災害対策本部車等を派遣。
平成25年8月	島根豪雨災害	島根県	16日間／延べ562名／照明車、排水ポンプ車を派遣。
平成25年9月	台風18号	京都府、滋賀県	24日間／延べ202名／照明車、排水ポンプ車、待機支援車を派遣。
平成26年8月	広島豪雨災害	広島県	35日間／延べ1,324名／照明車、排水ポンプ車、待機支援車を派遣。
平成27年9月	関東・東北豪雨災害	茨城県	9日間／延べ164名／照明車、排水ポンプ車、待機支援車を派遣。
平成28年4月	熊本地震災害	熊本県	29日間／延べ746名／照明車、排水ポンプ車、衛星通信車を派遣。
平成28年8月	北海道・東北豪雨災害	北海道	4日間／延べ44名
平成28年10月	鳥取地震災害	鳥取県	8日間／延べ152人／照明車、待機支援車を派遣。
平成29年7月	九州北部豪雨災害	福岡県、大分県	21日間／延べ161人／照明車、散水車、おんど2,000を派遣
平成30年7月	平成30年7月豪雨	岡山県、広島県	78日間／延べ2,069人・日／照明車、排水ポンプ車、散水車、おんど2000等を派遣
平成30年9月	北海道胆振東部地震	北海道	8日間／延べ24人・日／分解組立型バックホウを派遣

全国の機械をフル活用！早期復旧へ！

技術（機械） 本局企画部 施工企画課 建設専門官 **山口 正樹**



機械職の私は、平成30年7月豪雨の際、TEC-FORCEの応急対策班として岡山県真備町などへ災害対策用機械と共に派遣され、被災地の早期復旧の支援を担当しました。

現地では、全国の整備局から集結した多くの機械を使用して復旧作業を行うこととなるため、各機械の特徴や機能に応じた配置を計画し、一つのチームとしてどのように運用していくかが復旧の鍵となります。

また、復旧作業は刻々と状況が変化するため、自分で現地を確認したり、要望を聞き取って、常に効率的な配置を考えながら、被災地の早期復旧に少しでも役に立てることを心がけて、チーム一丸となって復旧作業を行いました。

活躍する仲間達の臨場感あふれる写真を！

事務 本局企画部 企画課 係長 **三宅 信行**



平成30年7月豪雨災害の時に、TEC-FORCE広報班として岡山県へ派遣されました。広報班の仕事は、TEC-FORCE活動や決壊した堤防の緊急復旧工事に従事する職員や建設業者の活躍を写真や動画で撮影し、記録に残すことです。

私自身派遣が決まった後に、職場の先輩にどうすれば臨場感あふれる写真が撮れるか教わり、隊員同士あるいは隊員と関係者が災害現場で相互に協力しながら、使命感をもって活動している姿を伝えられるように心掛けました。

その結果、自分が撮った写真・動画が災害記録誌や整備局ウェブサイトの記録写真・動画に採用され、皆様の目に触れることになり、自分も災害対応の一役を担っていることに、「やりがい」と「達成感」を感じました。



防災力で早期復興を支える

技術（土木） 本局企画部 防災課 係長 **福田 幹夫**

近年、大規模災害が多く発生していますが、私はそのような災害に備えるための行動計画策定や防災関係機関との連携など、防災力向上を図るために仕事をしています。

平成30年7月豪雨災害では、各地で甚大な被害が生じましたが、国土交通省では職員一丸で早期復興に向けた取組や自治体等へ支援活動を行いました。私自身も全国から集まったTEC-FORCE隊員の対応等を行い、職員一人一人が使命感を持って活動を行う姿に力強さを感じました。

今後も南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が懸念されていますが、私たちが暮らす国土を守るというやりがいのある仕事です。皆さん個々の力を発揮してみませんか?

被災地域の安心・安全な暮らしを目指して

技術（土木） 太田川河川事務所 安芸南部土砂災害復旧対策出張所 係員 **高木 恵里菜**



私は、平成30年7月豪雨により、土砂災害が発生した地域の復興を支援するために新設された出張所で働いています。

被災地域に砂防堰堤を建設するための設計や、その工事発注に携わっていますが、地域の方々からは不安や期待の声が多く寄せられ、一日も早く元の生活に戻っていただきたいという思いで、仕事に取り組んでいます。平成31年4月から砂防堰堤工事が始まっており、検討した設計が形になってくるのを見ると、やりがいを感じます。

災害から国民を守り、社会の安心・安全をつくるため、私たちと一緒に働きませんか！

平成30年7月豪雨時の被害状況



H30.7岡山県倉敷市真備町



H30.7広島県坂町

平成30年7月豪雨時の対応状況



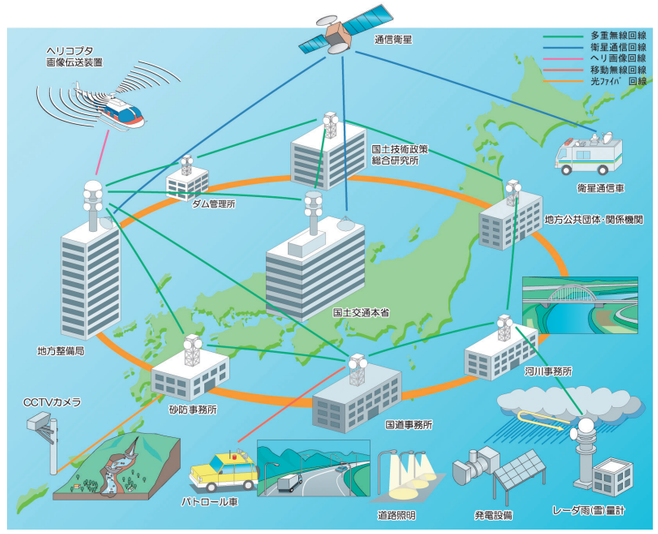
H30.7排水ポンプ車稼働状況



H30.7自治体支援（道路啓開）

電気通信

災害時に重要となるレーダ雨量・水位データといった河川情報や、道路を安全に利用するための道路照明施設・トンネル警報・情報表示施設など、安心で快適な暮らしを実現するために、電気通信施設の果たす役割はとても重要です。国土交通省では、台風や地震といった災害発生時でもリアルタイムかつ確実に情報を伝送できるよう、無線や光ファイバー通信を組み合わせ信頼性の高いネットワーク構築を構築し、これら施設の企画・設計・施工管理を行っています。





▲羅漢山レーダ雨量計


▲多重無線設備

災害時の活動状況（情報通信班）


国交省防災ヘリ（愛らんど）


平成30年7月豪雨（岡山県倉敷市）


衛星小型画像伝送装置の設置


衛星通信車の設置


衛星通信車の操作

全ての事業は情報通信技術なしでは成立しません!

技術（電気） 本局企画部 情報通信技術課 係員　**原口 史也**



災害時等に活用される無線通信装置の整備計画や整備にあたっての電波利用申請手続きなど、計画から運用に至るまでのあらゆる仕事に携わっています。また、情報セキュリティについても担当しており、業務で使用するコンピュータの情報漏えい対策、ウイルス対策なども行っています。

災害時において映像などの情報を伝達することは、被害拡大を防ぐために重要な要素です。情報伝達の手段をすぐに確立することで、多くの方の安全な生活を守ることに繋がります。そのような仕事に主体的に携われる環境があることを魅力だと感じています。

機　械

安全で安心な地域づくりのための河川、ダムや道路などのインフラ整備・管理において、機械技術は欠かせないものです。インフラが確実にその役割を果たすため、「建設機械」の開発・配備・運用や「機械設備」の計画・設置・管理などを行うとともに、中国地方の各事務所に災害対策用機械を配備し、災害発生時に迅速かつ的確な復旧作業ができる体制を整えています。
また、現場における生産性向上を目指したICT（情報化通信技術）施工の推進、「次世代社会インフラ用ロボットの開発・導入」の推進、優良な民間の「新技術」の活用促進、など多岐にわたる業務を行っています。

地域の安全・安心を支える機械技術

技術（機械） 企画部 施工企画課 施工係 係員　**沖胡 達也**



私が中国地方整備局に入った理由はダムを代表とした大規模施設の管理や、話題の ICT など新技術に携わりたいと考えたからです。機械職員は、河川と道路のどちらにも機械設備があるため、ダムだけでなく、排水機場や道路トンネル設備などの機械設備の設計から維持管理までを担っています。また、建設機械でも大型遠隔操縦式草刈機に ICT 技術を使用して、除草した箇所がタブレット端末のマップに着色され、電子データで管理できる開発を行うなど、建設事業に幅広く携わることができます。私も地域の安全・安心を支えるため、日々知識を深めて、いろいろな仕事に取り組んでいきたいと強く思っています。

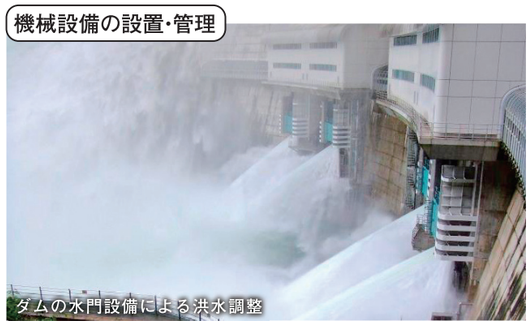
建設機械の開発・配備・運用


開発機械による堤防除草(大型遠隔操縦式草刈機)

建設機械の開発・配備・運用


「除雪グレーダ」による圧雪除去

機械設備の設置・管理


ダムの水門設備による洪水調整

災害復旧作業の支援


TEC-FORCE
（排水ポンプ車による排水作業）

ICT施工の推進



※MC（マシンコントロール）とは、衛星システムで位置を計測し、3次元データーを基に建設機械を自動制御する技術

ICT建設機械による施工

インフラ用ロボット開発・導入の推進


水中ロボットによるダム点検の現場検証

営　繕

営繕とは、「建築物の建築、修繕又は模様替え」をすることです。馴染み深い法務局、税務署、職業安定所（ハローワーク）から、それらを集約した合同庁舎、文化施設、研究施設など、国民の共有財産である国家機関の建築物（官庁施設）の企画・設計から工事監理、さらには維持管理に関するアドバイスまでを一貫して行っています。安全・安心な、便利で親しみやすく、地球環境にもやさしい官庁施設を長く使えるよう施設整備を進めています。


広島合同庁舎（1960 - 1987）

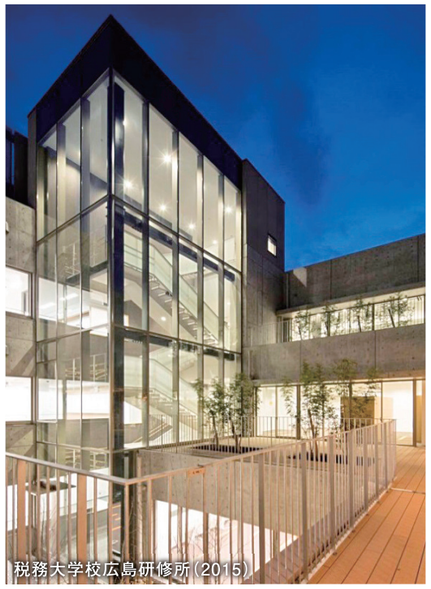

積層ゴム（支承材）


オイルダンパー（減衰材）

▲免震レトロフィットにより、従来の外観等を残して、災害応急対策活動の拠点としての機能強化を図った広島合同庁舎１号館


国立広島原爆死没者追悼平和祈念館（2002）


海上保安大学校煉瓦ホール（1914建設、2004保存改修）


税務大学校広島研修所（2015）

愛される公共建築



技術（建築）本局営繕部 整備課 係員　**勝丸 千尋**

建築意匠の設計審査を担当しています。設計を図面として形にする中で、設計者がその能力を最大限に発揮できるようアドバイスしたり、関係者と調整したりするのが仕事です。

建築設計にかかわる仕事の面白さは、建物の機能、規模、敷地、設計・工事の工程、工事費などの様々な条件から、設計者とともにオリジナルな設計図を作る過程にあると思っています。また、その建物で働く方や利用する方、地域の方々のニーズを把握し、設計に反映していくことも大切です。それらのニーズに優先順位をつけて、取捨選択をしていくことに難しさと奥深さがあります。完成した建物に愛着を持ってもらえるよう、建物を使うひとに寄り添った設計の必要性を日々実感しています。

事業の流れ

事業は企画、調査、用地取得、工事、維持管理などのステップを踏んで進んでいきます。一人一人の個性を活かすとともに、互いに連携するパートナーシップを大切にすることで、想いを確かなかたちに変えていきます。



●一般的な事務所の組織

●…主に事務系　●…主に技術系　●…事務系及び技術系

● 総務課 事務所が円滑に機能できるように、事務所内の全体調整を担当しています。	● 経理課 発注工事の契約及び各種購買業務から予算・財産管理、支払いを担当しています。	● 用地課 土地等の取得等及びこれに伴う損失の補償に関する業務を担当しています。	● 工務課／保全課 河川・道路工事や港湾の保全に関する工事等の積算、発注を担当しています。	● 調査課／企画調整課 河川や道路、港湾に関する対外的な調整を行い、将来計画、事業計画や設計等を担当します。
● 建設管理官室 港湾工事の監督を担当します。	● 管理課 河川や道路の維持・管理、災害・交通事故などの情報収集や連絡などを担当しています。	● 品質確保課 工事の発注に係る技術提案の審査・評価に関する業務などを担当しています。	● 防災課 防災関係業務のとりまとめ、関係機関との調整などの業務を担当しています。	● 出張所 直轄河川・国道のうち各担当管理区間の維持・管理、占用申請の受付を行います。

INTERVIEW ～Work Life～

Shigeru Takagi

倉吉河川国道事務所 事務所長
高木　繁



足跡

昭和62年 建設省に入省。
広島国道事務所　調査設計課
係員
アストラムラインに携わる

平成 2年 土木研究所　研究員

平成10年 岡山国道事務所　調査設計課
計画係長
地域と共にまちづくりに取り組む

平成12年 広島国道事務所　共同溝課
共同溝係長

平成14年 道路部　道路計画課
計画第二係長

平成19年 松江国道事務所　調査設計課
課長

平成20年 企画部　広域計画課
課長補佐

平成22年 道路部　道路計画課
建設専門官

平成24年 道路部　道路計画課　課長補佐

平成27年 国土技術政策総合研究所
道路構造物研究部
主任研究官

平成29年 道路部　道路保全企画官

平成30年 倉吉河川国道事務所　所長
約50人を束ねる事務所のトップに

構造物のある風景

学生時代は旅行先で橋や道路をよく見ていました。カレンダーの風景写真のように巨大なダムや橋、道路といった構造物が都市や自然の中に溶け込んでいる無駄のない美しい風景が好きです。これで多くの巨大な構造物に携われる国の仕事に興味を持ちました。

入省後は広島でアストラムラインの施工に携わりました。高架橋の設計や工事発注をしており、都市の中の構造物に関わることができました。

その後、土木研究所に出向し、橋や道路の設計基準の作成や大規模な地震の被災調査を行っていました。被災地では様々な惨状を目の当たりにし、社会を作っている土木施設の安全向上が大事だと身をもって感じました。

地域の人と共に、地域のために

岡山に勤務した時に初めてまちづくりの取組みを行いました。地域の人と共に地域の未来を描くまちづくりや都市交通問題を考え、時には交通に関する社会実験を協働で行いました。新しい道路が必要ではないか、どのように公共交通とリンクするのか、子育てや福祉の面から見てどうか、人優先の道路が良いか、など都市の未来図を創るようなことをしました。これをきっかけに自分の事業だけの視点でなく、その地域の課題や必要な施策は何かと常に考えるようになりました。

整備局には各地域に根ざした事務所があることで、地域の個性や特徴に合わせた事業を見い出せるという強みがあります。地域の方の声を聞き、地域が困っているのであれば一緒に考え、「地域の人と共に、地域の為になる（心に残る）仕事をする。」を強く心がけています。

山陰地域の魅力発信

今は山陰側の事務所で仕事をしています。山陰側は山陽側と比べて交通網が弱く、人口・産業・観光等の面で課題がありますが、中国地方の多くを占める山陰・中山間地域は共通の課題を抱えているのではないかと思います。一方で、あまり伝えきれていない魅力もたくさんあります。今後、中国地方が全国の中で競争力を持つためには、この山陰・中山間地域でどのように活かしていくのかがキーポイントだと思っています。倉吉河川国道事務所から山陰地域の魅力を引き出し、地域の活力や競争力、防災力の向上につながる取り組みを発信していきたいです。

構造物のお医者さん

新しい構造物を造る中、老朽化対策も重要です。人間ドッグのように構造物を定期的に検査し、「経過観察ですね」、「大規模な補修が必要ですね」と構造物を診るお医者さんを育てていくことがこれから必要になります。構造物を造る時から材料を工夫したり気象条件の履歴を残したりと将来の診断に向けての準備も必要です。これから入ってくる皆さんにも構造物のお医者さんに興味を持ってもらいたいですね。

簡単に諦めない、考え続ける

我々の仕事は一つの物事を決めるのに多くのプロセスがあります。また、整備局の仕事は橋やダムといった大きな構造物を設計し、造るだけではなく、これらを守るための技術、機械や電気の技術など多岐に渡ります。皆さんも多くのことに興味を持ち、簡単に諦めず、考え続けることを大事にして欲しいです。


倉吉市長との対談


関係機関との連絡調整


現地での図面確認


講演会の講師


施工業者と打合せ


現場で指示内容を確認


地域の方から道路について情報提供


仕事を終え、子供のお迎えへ

自分の目で見る

現在担当している仕事は、国道54号を安全に利用していただくための維持管理の仕事です。交通事故等で損傷した箇所の補修や、日々のパトロール、冬期は除雪を行います。また、交通安全事業として、歩道の整備も行っています。

国道54号は広島県広島市から島根県松江市を結ぶ幹線道路で、地元の方にとっても重要な生活道路です。そのため、いつ・どこで異常が起きても対応できるように、日頃から現場に出て、自分の目で見ることを心がけています。管理者として、管理区間の地名を聞いただけで、風景が目に浮かぶようにしたいと思い、出張所勤務1年目は、管理区間を全て歩きました。

1年間の勤務を経て、例えば「夏には雑草や木で見通しが悪くなる交差点」など、道路は季節によって変わること、車高の違い、子供や高齢者の目線でも違うことを、改めて実感しました。そして、道路管理者がいるからこそ、道路が日々安全に安心して使えることを再認識し、責任とやりがいを感じています。

印象に残っている仕事

岡山国道事務所で橋梁の補修や耐震工事を担当していた時は、1日が24時間では足りない！と思うくらい、多忙な日々を送っていました。残業することも多く、決して楽な仕事ではありませんでしたが、仕事に手抜きはしない、と決めていました。ある時、仕事で方針を決める際に、自分の考えを課長に相談したところ、作成資料にしっかり目を通していただいた後に、「分かった！君を信用しているからその考えで行こう！」と返答がありました。産休・育休から復帰した後は、仕事のブランクに不安を抱くこともありましたが、この仕事を通じて、身近な上司に、信用・期待してもらえていたことが分かり、とても感動しました。ここでの道路管理業務の経験と、それ以前の交通安全業務の経験が、現在の出張所の仕事にも活かせています！

現場の一番の理解者でありたい

出張所勤務で、日々多くの現場に出て、現場の実状を理解すること、情報共有することに努めています。

また、現場に出ていると、現在建設業界の高齢化が進行していることも切実に感じます。緊急時の体制の考え方や、出張所のあり方など、事務所で働いていた時には、考えがおよばなかったことにまで、目を向けられるようになったと思います。

家庭も仕事も充実

産休・育休を経て、復帰1～2年目の勤務は、周囲の理解やサポートもあり、家庭優先でほぼ毎日定時退庁をさせていただきました。日中は職員として、家に帰れば母親としての務めをこなすことで、この頃から、限られた時間の有効利用を、より意識するようになりました。

子供の急病によって、急なお迎えや、数日間仕事を休まなければならないこともあるため、家庭では食育や睡眠など規則的な生活を心がけ、仕事では主人とお互いの仕事に影響が出ないよう調整を図っています。食育は、子供の「おいしい！」の一言から料理に目覚めたのが、きっかけです（笑）

現在は、子供もある程度大きくなったので、家庭の時間も大切にしつつ、仕事に比重をかけれるようになり、充実した生活が送れていると感じます。

Naoko Akira

三次河川国道事務所 三次国道出張所係長
晃　直子



足跡

平成17年 国土交通省に入省。
福山河川国道事務所調査
設計第二課
岡山県笠岡市と広島県福山
市を結ぶ福山道路の調査・
設計を担当。
週末はドライブしながらケーキ
屋巡り。

19年 福山河川国道事務所工務課
松永道路の工事を担当。
この年に結婚

20年 長女誕生

22年 次女誕生

23年 産休、育休を経て復職。
岡山国道事務所交通対策課
交通事故対策や歩道整備
事業を担当。

26年 岡山国道事務所管理第二
課
橋梁の耐震・補修やトンネル
などの構造物補修の設計・
工事を担当。日本酒のおい
しさに目覚め日本酒の会を
結成。

27年 三次河川国道事務所三次
国道出張所係長に。

WORK-LIFE BALANCE

公務員といっても、部署や時期によってはかなり忙しくなることも…。
ママになってからのワークライフバランスについて、子育て中の女性職員に聞いてみました。

●子供を産んでからはみんなどんな風に働いてる？



係長
富田　紀子【技術】
子供2人（高2、小5）

山村　私は基本的には定時（8：30～17：15）の勤務です。
　小学生の子供を学童保育に預けていて、18：00までに迎えに行きます。
堤　私は勤務時間の変更とお昼休みの時間を短縮して、16：45に終業にしています。子供が小さい間は、育児時間も取得していました。
小倉　私も勤務時間の変更とお昼休みの短縮です。でも、残業が余りできないぶん、前よりも仕事中は集中してる気がします。
富田　復職後、残業が出来ないことで、最初は自分だけ早く帰るのもなんだか申し訳ない気がしていました。でも、子供も大事だし、出来ることを頑張ろうと思って。今は、子供が大きくなってきたのもあって、残業する日と定時で帰る日のメリハリのある働き方になっています。

●家庭と仕事の両立のためにしていることは？



港湾施設監査官
吉武　理恵【技術】
子供1人（小2）

小倉　まだ子供が小さいので、子供が急に体調を崩した時に自分、夫、両親の誰が迎えに行くかを決めています。
山村　家族の助けは本当に有り難いですよね。
堤　我が家は夫婦ともに実家が遠く、近くに頼れる人が居ないので、広島市のファミリーサポート制度に登録しています。
　あと、仕事も家事も優先順位をつけて、優先順位の低いものは無理せず諦めることにしています。
吉武　私も頑張りすぎないようにしています。最初は、全部やらなきゃ、と思っていたけど、体調を崩したりして…。今は、ある程度手を抜いて、できることをやる、という感じです。



主任
小倉佳名子【技術】
子供2人（6歳、4歳）



係長
堤　尚子【事務】
子供2人（中1、小4）

●ストレスを溜めないコツは？

吉武　たまに子供を主人に預けて、一人の時間をもらいます。寝たり、コーヒーを飲みに行ったり…ゆったりした時間を過ごします。
山村　私は合間をみて、SNSや読書を楽しんでいます。
　でも、週末に家族で過ごす時間が一番のリフレッシュです!
富田　みんな、上手く息抜きしてますね。忙しくて大変だけど、いずれ子供は大きくなるし、育児も仕事も楽しんで出来たらいいですよね!



専門調査員
山村　尚美【技術】
子供2人（高２、小4）



◆私たちはこのような制度を利用しています◆

休暇制度

●年次休暇
採用初年は15日、翌年からは20日。※残り日数は翌年に繰り越し。年間最大40日。

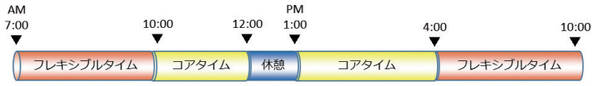
●特別休暇
夏期休暇 …… 7月～9月のうち連続する3日間
結婚休暇 …… 結婚の5日前から結婚後1ヶ月のうち連続する5日間
その他特別休暇 …… 産前産後休暇、忌引、看護休暇など

●病気休暇
負傷、疾病のため療養する場合

●介護休暇
日常生活を営むのに支障がある家族を介護する場合

●育児休業
3才に満たない子を養育する場合

●フレックスタイム制



フレックスタイム制とは、４週間の総労働時間（155 時間）の範囲内で、各勤務日における始業と終業の時刻を職員自らが選択して働くことにより、職員がその家庭生活と仕事との調和を図りつつ効率的に働くことを可能とする制度です。フレックスタイム制には必ず勤務しなければならないコアタイムと呼ばれる時間帯と、その時間内であれば、任意に始業・終業時刻を設定することができるフレキシブルタイムと呼ばれる時間帯があります。

共済制度

国土交通省共済組合が職員及びその家族のみなさんの生活をしっかり支援します。

●病気・ケガの診察
医療費の一部を支払うだけで治療が受けられます。

●結婚、出産、育児休業の際
各種給付金が支給されます。

●資金が必要な場合
臨時の支出を必要とする場合に貸付を受けることができます。また、給与からの差引により共済積立貯金も行っています。

◆くらしてミーティング◆

女性の感性を活かしたよりよいインフラ整備・管理及び渉外活動を行うため、組織のプレゼンス向上並びに女性の情報共有を行うことを目的とした「くらしてミーティング」を平成 26 年度に設立。男性も女性ももっと輝ける職場を目指して、活動しています。

女性の感性を活かしたインフラ整備

　国土交通省が所管するインフラ施設のうち、子供など一般利用者が多い施設等（国営公園や道の駅など）について、くらしてミーティングメンバーによる女性目線での施設点検を行いました。
　点検した結果については、日常の維持管理や、より良い公園整備、道の駅施設として反映できるよう、提案していきます。



道の駅施設点検



外部講師による講演状況

外部講師による講演会

　女性職員のキャリアプランの意識向上を目的に、社会の様々な分野で活躍する女性による講演会を主催しました。開催にあたっては、女性職員だけでなく、女性が働き続けるために必要不可欠な男性職員への理解を深めるため、女性職員を部下にもつ管理職男性職員も参加しました。
　この他、ロールモデルとなる先輩技術系女性職員の講演会も開催しました。

産・官・学の意見交換及び現場見学会

　民間企業等の女性技術者も含めた「土木技術者女性の会」や、地元の女子大生などと、仕事のやりがい、土木分野で女性が活躍するために必要なこと、ワークライフバランスなどについて、意見交換を実施しました。
　あわせて、建設現場の見学会を実施し、学生には、建設現場の現状を理解してもらうとともに、技術系女性職員には、スキルアップに努める活動を行いました。



現場見学会の様子



小学校での防災出前講座

建設業界の魅力発信

　高専女子フォーラム、建設技術フォーラムなどの機会を活用し、女子学生などへ、国土交通省の魅力と女性職員の活躍などについて、ポスターセッションなどにより説明しました。　また、小学生に対して、防災に関する出前講座を実施し、国土交通省の役割などを説明するとともに、技術系女性職員が活躍する姿を発信しました。



2019 カレンダー作成



「中国地方整備局のここが知りたい！」Q&A

Question and Answer

中国地方整備局を目指すみなさんから多く寄せられたご質問についてお答えします。

Q 休暇は自由に取れますか？

A 有給休暇としての年次休暇は、業務に支障がない範囲内で取れます。また、夏には特別休暇として夏季休暇がありますが、民間のお盆休みのように職員が一斉に休むのではなく、それぞれの課や係単位で業務を調整して交代で休みます。

Q 残業や休日出勤は？

A 残業の有無等については、部署によって異なるので一概には言えませんが、残業を命じられた場合には手当が支給されます。また、災害対応などで土・日出勤や休日出勤を命じられる場合もありますが、そのような時には代休がもらえる制度もあります。

Q 必要な資格や入省までに勉強しておかなければならないことはありますか？

A 入省してから職場で一つひとつ学んでいけば大丈夫です。また、新規採用職員を対象とした研修制度も充実しているので心配いりません。熱意のある人を待っています！

Q 配属先は選べますか？

A 中国地方整備局全体の人事異動状況、各部署の業務状況などから必ずしも100％希望が叶うわけではありません。しかし、毎年、勤務地や職務に関する希望を全職員から提出してもらうことにより、少しでもみなさんの希望に近づけるよう配慮しています。

Q 勤務地や転勤はどうなりますか？

A 中国地方整備局は中国5県が管轄エリアになるため、中国5県に点在する事務所や出張所など全機関が勤務候補地になります。配置換（転勤）のサイクルは、おおよそ2 ～ 3年程で、様々な職務を担当することで経験を積んでいきます。中国地方の各地で新しい出会いや貴重な経験が出来るので、転勤を楽しんでみるのも良いですよ。

Q 他省庁や自治体との違いは？

A 最も特徴的なことは、「国家プロジェクト」から「地域に密着した仕事」まで、幅広い仕事に取り組んでいることです。また、河川、道路、港湾など、国として必要不可欠なインフラの整備を行っており、国民の安全で安心な暮らしを守っています。
大規模災害時においては、全国から被災地に職員が派遣され、復興の基盤となる河川、道路、港湾の調査や対策など、自治体の支援も行っており、今後も重要な役割を担っていきます。

Q 学部･学科によって有利･不利はありますか？

A あくまでも人物本位での選考を行っています。職種も多岐にわたっていることから、研修制度も充実しており、“やる気”があれば、学部・学科は関係ありません。

Q 現場にでる機会は多いですか？

A 中国地方整備局のフィールドは、新しい施設を造る大規模な工事から既に利用されている河川や道路の管理など幅広くあります。現場を確認しながら仕事を進めていくことが重要となるため、デスクワークのみの仕事は少なく、必然的に現場に出る機会が生じます。特に、出張所は、現場を監督・管理する部署で、現場に出ない日はないほどです。
事務系の場合、管理・用地取得などを担当している職員は現場に出る機会があります。

Q 入省後の住まいは？

A 各勤務地に宿舎があり、希望に応じて貸与します。
民間アパート等を賃貸する場合は手当が支給されます。



芦田川レガッタ大会



大山登山



鳥取しゃんしゃん祭

研　修

スキルアップをしっかりサポート!

技術を身に付けたい!!
自分をもっと高めたいという方のために
さまざまな研修の場を用意しています

研修は中国地方整備局研修所（広島市）、国土交通大学校小平本校（東京都小平市）・柏研修センター（千葉県柏市）等で実施しています。また、人事院等の外部機関の研修に参加することもあります。新規採用者は、まず新規採用研修を受講して、国家公務員としての使命と心構え、基礎的な知識などを身につけます。その後も、担当業務や職場での成長度に応じて、専門知識の向上、自己キャリア開発、マネジメント能力の向上を目的として、実際に現地を見学し、現場力をつける河川・道路などの専門研修や人材育成分野にわたる様々な研修を受講しています。

また、若手職員の情報共有の場としても研修は重要と考え、研修の中には、採用年度が違う若手職員や先輩職員との意見交換などの時間を設けるなど、様々な面からサポートしています。この他、休日などを利用して、バーベキューやスポーツなどを通じ、研修生同士の交流を深められるのも集合研修の魅力です。


多様なフィールドを活用し、現場で必要な技術を習得


演習成果の発表


討議での活発な意見交換


逆T擁壁の作成

採用後、即戦力として活躍いただくための1年目に実施する研修について紹介します

研　修　名	実施時期	期　間	対　象	研　修　内　容
新規採用職員	採用直後	約1週間	事務・技術	国家公務員としての任務や心構え、組織人として必要なマナー・知識、グループにおけるチームワークやコミュニケーション活動等について習得を行います。
新規採用職員二次	4月中旬	約1週間	事務・技術	国土交通行政に係る基礎知識や業務を行っていく上で必要な基礎知識の修得と実務能力の養成を図ります。
総合技術初級	9月中旬～11月上旬	約2ヶ月間	技術	河川、道路について、必要となる技術的基礎知識を講義や現場実習、演習を通して習得し、実務能力の養成を図ります。

●2年目以降も担当者、係長、管理職等、各階層に応じた研修や、専門分野の研修を実施しています。

研修を受講する環境


中国地方整備局研修所







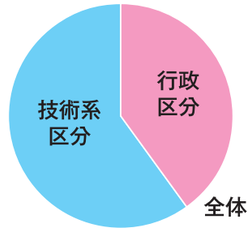


組織の概要

● 職員数

約1,800名

（技術系区分:約6割、行政区分:約4割）



全体 約1,800名

● 組織図

国土交通省

中国地方整備局 ― 27事務所・管理所

統括防災官室	総務部	企画部	建政部	河川部	道路部	港湾空港部	営繕部	用地部
防災室 災害対策マネジメント室	人事課 総務課 会計課 契約課 経理調達課 厚生課	企画課 広域計画課 技術管理課 施工企画課 情報通信技術課	計画・建設産業課 都市・住宅整備課	水政課 河川計画課 地域河川課 河川工事課 河川管理課 水災害予報センター 水災害対策センター	路政課 道路計画課 地域道路課 道路工事課 道路管理課 交通対策課 高規格道路管理センター	港政課 港湾管理課 港湾計画課 港湾事業企画課 港湾空港整備・補償課 海洋環境・技術課 港湾空港防災・危機管理課 クルーズ振興・港湾物流企画室 品質確保室	計画課 調整課 整備課 技術・評価課 保全指導・監督室	用地企画課 用地補償課 用地対策課

● 事務所・管理所



本局					
■ 中国地方整備局					
事務所・管理所					
1 鳥取河川国道事務所	4 浜田河川国道事務所	10 福山河川国道事務所	16 苫田ダム管理所	22 岡山営繕事務所	
2 倉吉河川国道事務所	5 出雲河川事務所	11 三次河川国道事務所	17 土師ダム管理所	23 境港湾・空港整備事務所	
3 日野川河川事務所	6 松江国道事務所	12 太田川河川事務所	18 弥栄ダム管理所	24 宇野港湾事務所	
	7 岡山河川事務所	13 広島西部山系砂防事務所	19 八田原ダム管理所	25 広島港湾・空港整備事務所	
	8 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所	14 広島国道事務所	20 温井ダム管理所	26 宇部港湾・空港整備事務所	
	9 岡山国道事務所	15 山口河川国道事務所	21 中国技術事務所	27 広島港湾・空港技術調査事務所	

勤務条件等について

初任給

【一般職試験】

◆大卒程度試験合格者　**180,700円～**

◆高卒者試験合格者　**148,600円～**

（職歴加算あり）

- ●このほか、通勤手当、扶養手当、住居手当、超過勤務手当などが支給されます。
- ●通勤手当：通勤に交通機関等を利用している者に支給。
- ●扶養手当：扶養親族のある者に支給。
- ●住居手当：借家・借間に住んでいる者に支給。
- ●地域手当：広島市、岡山市等に所在する官署に勤務する者に支給。
- ●期末・勤勉手当：いわゆるボーナス。年2回（6月、12月）支給。

勤務時間

8:30 → 17:15（7時間45分）

広島市内に勤務する場合（広島港湾・空港整備事務所を除く）　9:15 → 18:00

過去の採用実績

官職・試験区分 ＼ 試験年度	事務官	技官									計
	行政	土木	電気・電子情報	機械	建築	物理	化学	農学	農業農村工学	林学	
21年度	4(1)	5	2	—	—	—	—	—	—	—	11(1)
22年度	3(1)	2(1)	—	1	1	—	—	—	—	—	7(2)
23年度	3(1)	9	1	—	—	—	—	—	—	—	13(1)
24年度	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	3(0)
25年度	9(1)	30(6)	1	1	—	1	—	—	—	—	42(7)
26年度	16(8)	30(7)	2	2	2(2)	—	2(1)	1	1(1)	—	56(19)
27年度	9(4)	24(6)	2	3	4(2)	1(1)	—	2(1)	—	—	45(14)
28年度	14(7)	18(3)	1	3	2(1)	—	—	—	—	—	38(11)
29年度	8(4)	24(4)	1	3	3(2)	—	1(1)	—	2	—	42(11)
30年度	21(9)	36(7)	1	4	2	1	—	—	2(1)	—	67(17)

※（）内は女性の採用者数内書き

インフラツーリズム

中国地方整備局は、社会資本整備への理解を深めていただくための取組みの一環として、旅行会社と連携し、インフラ施設見学を含めた「インフラツーリズム」を行っています。

「インフラツーリズム」とは、世界に誘るべき土木技術や優れた性能を有する土木構造物など、特徴あるインフラ施設を観光資源として活用するものです。右のチラシはH26年2月に、初めてインフラツーリズムを企画した際のものです！ 若手職員のアイディアを積極的に募集しています！





提供：トラベルクリエイト（株式会社バイタルリード）